

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人 博和会	代表者	宇宿 慶一	法人・ 事業所 の特徴	繁華街から近く、向かい側にはスーパーがありバス通りに面しているため、利用者様にとってもご家族様にとっても立地条件がよい。事業所内はバリアフリーでワンフロアのため居室を出たらすぐに顔なじみの職員がいるということは安心感につながっている。また、サービスに関しては個別に対応しており、通い、泊まり、訪問は状況に応じて柔軟に対応している。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 サンブライト上小島	管理者	太田 光康		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	1人	2人	0人	1人	1人	0人	2人	1人	8人

項目	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<p>Q1 少なくとも常勤のスタッフ全員で事業所評価に取り組んでいることが確認できたか？ →はい6 いいえ わからない</p> <p>Q2 事業所評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できたか？ →はい5 いいえ わからない1</p> <p>Q3 前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取組が行われていたか？ →はい4 いいえ わからない1</p> <p>Q4 今回の改善の必要な点が明らかにあり、その改善計画が具体的に立てられているか？ →はい5 いいえ わからない1</p> <p>Q5 事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見 → ・具体的に立てられています。でも立てただけではだめですね。全員にしっかり説明し全員に周知させる努力が必要です。不思議なことにリーダーの一生懸命な態度には気持ちよくなってゆけるものです。命を預かる。これから、もっともっと重要視されるお仕事です。頑張ってください。 ・多忙な業務の中、スタッフの皆様が利用者様のことを考え利用者様が望む日々の生活を送らせてあげられるよう努力している姿が浮かびます。 ・事業所全体で自己評価に非常に良く取り組んでいると思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 新規のご利用者様には、ケアマネジャーと介護リーダーでサービス内容の調整を行う。また、具体的な訪問内容、週間スケジュールは担当者と作成する。 全体会議の中で、事業所の個別計画書をもとに、ご利用者様の「～したい」や困っていること、課題について話し合いの場をつくる。 訪問内容の一覧表を全体会議の中で確認し、統一した日常生活の支援を行っていく。 ご利用者様の日々の変化を申し送りノートや、タブレットを活用し情報共有し困っていること、課題については全体会議の中で話し合いの場をつくる。

- 評価に真剣に取り組んだ姿勢が見られます。ところどころ、改善計画の「内容」と「取組」、「結果」に関連性がない記載になっています。

Q6

今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見

- • 9つのテーマの改善策を頭に入れながら日々の業務に当たられることは大変なことだと思いますし、「あまりできていない」「ほとんどできていない」と答えられた方も見受けられたので、日々の業務の流れでできることにしぼってもいいのでは？と感じました。
- 具体的な計画となっており、取り組みやすいと思います。
- 「次回」改善計画策定において、「時間」「場所」「誰が」「手段」を記載し具体的な策定をお願いします。
事業所評価「2.~したの実現」および「4.地域での暮らしの支援」、「6.連携・協働」「8.質を向上するための取り組み」の自己評価は「できていない」が過半数を越えます。改善計画や取り組みが達成可能なものであるか検討をお願いします。

Q7 自己評価をテーマとした自由意見

- • 改善計画が達成できるように全職員が意識し、地域また職員にとってもより良い事業所を目指してください。
- 職員のコミュニケーション不足があるように思われる。コミュニケーションが取れて、楽しい職場であれば仕事も「しやすい」し優しくなれます。失敗も少ないかと。給料が良ければ少々なことに耐えられるし、上司に声をかけて貰ったり労いの一言「ご苦労さん」「大変だったね」「大丈夫ね」等があるとこれまた元気を貰うものです。
- 人を動かすには思いやりと言うか「やさしさ」が絶対に必要です。勿論利用者様にもです。
- 事務方と現場のコミュニケーションも大切です。現場があって事務方、事務方がある現場でも、どちらも大切な存在です。

<p>B. 事業所の しつらえ・環境</p>	<p>Q1 家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされているか？ →はい5 いいえ わからない1</p> <p>Q2 事業所は居心地がいい空間になっているか？ →はい5 いいえ わからない1</p> <p>Q3 事業所内・外に、不快な音や臭い等はないか？ →はい4 いいえ わからない2</p> <p>Q4 日中、事業所の門や玄関にカギはかかっているか？ →はい5 いいえ わからない1</p> <p>Q5 上記（Q1～Q4）に関する意見 →・事業所内は清潔感が保てており、とても居心地の良い空間になっています。 ・事業所内や外に不快な音や臭い等は無く、入りやすい環境となっています。 ・作品や季節の飾り付けがあり、明るい印象を受けます。利用者の移動に際し、邪魔にならないか心配です。</p> <p>Q6 事業所のしつらえ、環境をテーマにした自由意見 →・室内環境的には、明るくゆったりできるような印象があると思います。 ・地域の方が気軽に来所し、利用者とも交流できるような場所を確保する必要があると思います。 ・不快な臭いはなく、配慮がなされています。床にゴミは落ちていないが、水回りは特に床の目に入り込んだ汚れがあります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事故防止委員会はヒヤリハット報告の目標数値を掲げ、職員に注意喚起しヒヤリハット報告の充実と介護事故を減らす。 ・スピーチロックの注意喚起として身体拘束、虐待防止委員会による呼びかけや掲示を行う。 ・成年後見制度についての勉強会を開催する。
----------------------------	--	--

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<p>Q1 職員のあいさつはできていますか？ →はい6 いいえ わからない</p> <p>Q2 事業所は、地域の方に知られているか？ →はい4 いいえ わからない2</p> <p>Q3 何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっているか？ →はい4 いいえ わからない2</p> <p>Q4 事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加しているか？ →はい3 いいえ わからない3</p> <p>Q5 上記（Q1～Q4）に関する意見 →・スタッフの挨拶はしっかりと出来ています。 ・事業所は、比較的地域の方にも知られていると思います。 ・地域の行事やイベントに参加しようとする姿勢が見受けられます。 ・何か困りごとや相談ごとがあった場合に相談しやすい環境づくりが必要と思います。 ・感染予防対策への配慮はあるかと思いますが、スタッフが地域行事やイベントに参加している頻度は以前より減少している印象を受けます。</p> <p>Q6 事業所と地域の関わりをテーマにした自由意見 →・困りごとがあれば、事業所へ気軽に相談でき、気軽に遊びに来てもらえるような事業所作りを目指してください。 ・今後、地域の方々に気軽に来ていただくため、イベントを企画して、地域の方々に知らせる等の検討が必要と思います。 ・新型コロナウイルスにより開催中止になった地域行事が再開されています。該当する地域イベントの情報収集をできるように常にアンテナをはってください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新規の独居のご利用者様の利用があった場合は、担当の民生委員を確認し「基本情報」に記載する。 ・感染状況を踏まえながら、事業所内の企画運営する季節行事で年2回は外出行事を行う。 ・タブレットを活用し、ご利用者様の自宅での様子をより具体的に入力し生活状況の把握を行っていく。
-----------------------	---	--

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>Q1 利用者を事業所の中だけに閉じ込めていないか？ →はい2 いいえ1 わからない3</p> <p>Q2 利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われているか？ →はい3 いいえ わからない3</p> <p>Q3 事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加しているか？ →はい3 いいえ わからない3</p> <p>Q4 利用者以外のご近所の心配な方に、事業所は関わっているか？ →はい1 いいえ わからない5</p> <p>Q5 上記（Q1～Q4）に関する意見 →・地域でのイベントや行事が少ないですが、地域との関わりは出来るだけ継続して頂き地域の方との交流出来るイベント等の機会を検討する必要があると思います。 ・新型コロナウイルスが5類に位置づけられましたが、病気が根絶した訳でもなく抵抗力の弱い高齢者には重篤になり得る疾患です。感染予防に配慮しつつ以前のように入居者の社会参加や自己実現を実行する意志や体制は維持していかなければならないと考えています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 感染状況を踏まえながら、事業所内の企画運営する季節行事で年2回は外出行事を行う。 • 担当ご利用者様との個別に話す機会をつくり、生活状況等の理解を深め周知のための情報発信を行う。 • 全員が集合形式や、Zoom を活用した地域包括支援センターやその他のサービス期間が開催する研修や会議等に参加する。 • 送迎に出ない職員も新規ご利用者様の自宅の環境面やADLの状況などを写真や、画像で共有できるようにタブレットを活用する。
--------------------------------	---	--

<p>E. 運営推進会議を活かした取り組み</p>	<p>Q1 運営推進会議では、事業所の取り組みが解りやすく説明されているか？ →はい5 いいえ1 わからない</p> <p>Q2 運営推進会議では、地域の心配の方などの事例検討が行われているか？ →はい3 いいえ1 わからない2</p> <p>Q3 運営推進会議では、地域の取り組みを一緒に取り組もうとしているか？ →はい6 いいえ わからない</p> <p>Q4 運営推進会議で出た意見を改善に繋げているか？ →はい6 いいえ わからない</p> <p>Q5 上記（Q1～Q4）に関する意見 →・説明不足もあろうかと思います。もう少し、魅力ある会議にできればと思います。 ・前回参加させていただいた会議では、5つのチェック項目が満たされていた様に感じました。 ・事業所の取り組みについては、運営推進会議で口頭や会議録にて報告されている。 ・会議録等で、季節感を感じられる行事や日頃の様子を写真に載せているので、事業所の様子がより分かり易いです。 ・地域の心配な方等の事例検討については、対象となる方の発掘が難しいのではないかと思います。 ・運営推進会議資料において、活動内容の写真挿入があり、取り組み内容が解りやすいです。 ・介護事故の報告では、文章のみで分かりづらいことがあるため、必要に応じて図解説明があってもよいです。</p> <p>Q6 運営推進会議を活かした取り組みをテーマにした自由意見 →運営推進会議で出た意見を積極的に取り組まれていますが、今年度は文書による運営推進会議の開催が殆どでしたので、意見交換があまりできなかったと思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 運営推進会議等地域の方やご利用者様、ご家族様からの意見や苦情を聞き取りサービスに反映する。 • 地域貢献活動に力を入れて継続する。 • 小島茂木包括支援センター等が開催する地域連絡会に管理者以外の職員も参加する。
---------------------------	--	--

- | | | |
|--|---|--|
| | <ul style="list-style-type: none">• 運営推進会議を行えない場合、書面でも事業所の取り組みを出来る限り詳しくお伝えしていけるような工夫が必要と思います。• 運営推進会議において、地域の特定の人物（利用者さん以外）の事例検討までには至っていませんが、地域課題や詐欺等の犯罪増加、猥被害等の情報共有や注意喚気は行っていると評価しています。 | |
|--|---|--|

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>Q1 事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っているか？ →はい3 いいえ わからない3</p> <p>Q2 事業所は、地域の防災訓練に参加・参画したことがあるか？ →はい2 いいえ1 わからない3</p> <p>Q3 事業所の防災訓練に参加したことがあるか？ →はい3 いいえ2 わからない1</p> <p>Q4 災害時、事業所は頼りになりそうか？ →はい2 いいえ わからない4</p> <p>Q5 上記（Q1～Q4）に関する意見 →・避難訓練、消防訓練を定期的に関催されており、引き続き訓練を実施し、運営推進会議時に報告を継続していただき、事業所の防災・災害対策を外部にお知らせする取組みが必要と思います。 ・1月1回の避難訓練、半年1回の総合避難訓練を実行しているのは、会議での報告書で確認できています。事業所の防災計画は見たことがない方が多数と思うので、運営推進会議の場で報告または資料配布してみたらどうでしょうか。</p> <p>Q6 事業所の防災、災害対策をテーマにした自由意見 →・人で不足のためできなかつたりしたのでしょうか。本当に何か災害があった時の対策は少し気になります。私は避難所要員でお世話をしてきました。突発事故も時にあります。殆どが高齢者なので、気がぬけません。8時間～12時間位が（1回）又、翌日というのもあつたりしますが、気をつけていることは何でも相談できるように、常に優しく接することを心がけています。 ・引き続き対策、訓練を実施し、会議時に報告していく形で良いと思います。 ・今後も事業所の防災・災害対策を外部にお知らせする取組みが必要と思います。 ・地域の方々にも事業所の避難・消防訓練に参加して頂けるように案内し、地域との連携が取れるように様に関係性を深める働きかけが必要と思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回の総合避難訓練を行う際は、地域の方に声をかけ、参加してもらえるように努める。 ・退院後の健康不安や天候災害に関わる避難等、ご利用者様のニーズに応じて柔軟なサービス調整を行う。
----------------------------	---	--

その他	<p>Q1 全体の感想など</p> <p>→ ・コロナ感染もですが、それに加えてインフルエンザ感染者も多くなり、高齢者の方のお世話をされるスタッフ様も気の休まる時がないのでは？と心配しています。</p> <p>地域の高齢者を支える拠点としてのご活躍をされている様子がよくわかりました。</p> <ul style="list-style-type: none">・事業所周辺の清掃活動をされており、住民との交流を図ることができていると思います。・事業所の様子が分かるよう、運営推進会議の資料には写真を多数掲載するなど工夫をされていると思います。・事業所の訓練がある時は地域の方へ案内を出して、事業所の消防訓練に地域の方も協力いただけるように働きかけの検討が必要と思います。・外部研修には定期的に参加していると思いますが、スキルアップのために定期的に内部研修を行い、職員全員が研修を行えるような体制が必要と思います。・今後、地域の方と交流できる機会をもち、事業所の役割など知っていただけるよう地域の活動にも参加する場があれば良いと思います。
-----	---

